

待遇コミュニケーション学会

2025 年秋季大会発表者募集のお知らせ

開催日時：2025 年 10 月 18 日（土）

早稲田大学で対面開催

2025 年秋季大会は、10 月 18 日（土）に早稲田大学（早稲田キャンパス）にて対面開催いたします。発表をご希望の方は、以下の発表規定をご参照の上、奮ってご応募ください。

敬語表現研究・待遇表現研究・ポライトネス研究・コミュニケーション研究及びそれらに関わる教育研究をテーマとした口頭発表を募集いたします。

1. 発表資格

発表者は、応募および発表の時点で会員であること。

（入会希望の方は学会 HP をご参照ください。<http://tcg.gsjal.jp/>）

発表内容は、関連領域に関する未発表の研究に限ります。

発表形態は口頭発表です。（持ち時間 30 分。うち発表 20 分、質疑応答 10 分）

2. 応募要領

応募者は、以下 4. の（1）～（4）の項目を A4 判（横書き）2 枚に収めた応募原簿を、以下の送付先にメールでご提出ください。

応募原簿の送付先：wtcg@list.waseda.jp（応募先は会員用 ML や庶務のメールアドレスではありません。）

3. 締め切り

2025 年 8 月 8 日（金）必着

4. 応募原簿の内容

（1）発表題目

（2）要旨：

何を述べたいか（中心的な主張や結論）、その論証等の概略（データ、研究方法など）、セールスポイント（先行研究との違いなど）。上記 3 点を盛り込み、計 2,000～2,400 字程度。なお、参考文献の記載は概略で構いませんが、字数に含めて計算するものとします。

（3）大会当日の発表時のパワーポイント使用の有無

（4）応募者に関する情報：

氏名（ふりがな）・所属・E-mail アドレス（8 月下旬に採否の結果を必ず受け取れる E-mail アドレスをご記入ください。）

（注記）

- ・ 所属の記載は、主たる所属先 1 箇所に限り、機関名（「〇〇大学」など）またはこれに次ぐ規模のセクション名（「〇〇大学〇〇学部」など）にとどめるものとします。なお、学生（大学院生・研究生）・名誉教授等の場合はその旨示しますが、教職員等の場合、身分（専任・非常勤の区別や職名）は示しません。
- ・ 「発表者」は、発表内容に責任を負い、発表内容をその業績とすることのできる人で、人数は問いませんが、全員、応募および発表の時点で会員でなければなりません。なお、発表者が複数いる場合は、応募原簿（4）において、そのうち一人を「筆頭発表者」として示してください。採否の通知および採択後の事務連絡などは、原則として筆頭発表者に対してのみ行います。
- ・ 要旨が論旨の通るように書かれているか、必ず応募原稿執筆の経験者などのチェックを受けること。大学院生の場合は、それが指導教授であることが望ましい。

5. 採否

採否は、応募者名を伏せて編集委員会で審議し、8月下旬に応募者にメールで通知します。

6. 採択から大会当日まで

採択通知を受けた場合、10月16日（木）までに発表資料を提出してください。発表資料の分量は自由です。採択後、病気等やむを得ない事情で発表が困難になった場合や、発表題目を変更する場合には、速やかに事務局に届けてください。

7. 大会当日の進行

大会当日の打ち合わせと進行については、採用された方に別途ご連絡します。

8. 終了後

採用された発表につきましては、研究発表後に別途要旨（1000字以内）を10月31日（金）までにご作成いただきます。要旨は翌年の学会誌『待遇コミュニケーション研究』（毎年4月発行）に収録され、J-STAGE上に掲載され公開されます。応募の時点で、これに同意したものとみなしますので、ご了承ください。

お問い合わせ：待遇コミュニケーション学会（事務局） wtcg@list.waseda.jp